

2013年7月20日(土)～21日(日)

テーマ:かんきょう キャンパス・レポート2013

## 写真で報告...ちくご子どもキャンパス「矢部川中流域の自然観察と体験2013」

### ちくご子どもキャンパス「矢部川中流域の自然観察と体験2013」



今年の夏も、ちくご子どもキャンパス体験学習プログラム「矢部川中流域の自然観察と体験2013」は、大きな事故もなく、無事終了しました。

このプログラムは、矢部川中流域の自然を観察することから、生命の大切さや人の暮らしを見つめ直すきっかけ作りとすることが主題です。

昨年7月14日の「平成24年7月九州北部豪雨」により、矢部川流域は深刻な被害を受けました。自然観察を予定していた「船小屋中ノ島公園」も激流で酷く挟み取られ、流木が散乱し、泥土が堆積し、淡水浴が全くできないような大きな被害が生じ、今年も、いまだに立ち入ることができません。

このような中、まちづくりネットワークちくごでは、今年も、「ちくご子どもキャンパス『矢部川中流域の

自然観察と体験2013』を開催し、自然観察体験学習の機会をできる限り提供したいとの思いで、例年と内容を一部変更して実施しました。

今回のプログラムは、九州芸文館研修棟で生命の講話を聴いた後、船小屋矢部川堤防付近の様々な生き物の観察し、筑恋邸で竹を削って、自分たちが使う竹の箸を作り、夜のセミの羽化観察や自然体験の思い出を小石に描き、体験学習のまとめとして、骨髓提供経験が二度ある長直樹さんのお話や大石英雄さんのメッセージソングを聴いていただきました。

普段見ることの出来ない自然の中の小さな命とのふれあいや、セミの羽化に感動し、メンバーと協力してのカレー作りや思い出を描くストーン・ペインティング、昼食のそうめん流しといった楽しく、貴重な経験が、今後の子ども達の活動に活かされていくことと思います。

今回は、宿泊研修会場を提供いただいた筑後市をはじめ、多くの方々のご協力により開催することができました。ご支援いただいた皆様に感謝申し上げます。

これからも、私たち「まちづくりネットワークちくご」は、自然観察会や命の大切さを考える様々な催しを通じて、水と緑と命を大切に自然豊かな筑後のまちづくりを進めていきます。

ちょっと写真で報告します。



早めに来た子は、駅周辺を散策。展示してある船小屋の由来、昔の木製の船の周辺で遊び、会場に移動しました。

新幹線JR筑後船小屋駅前の からくり時計「つどいの木」の前に集合しました。



今回は、午前中の会場に筑後船小屋駅のすぐそばに2ヵ月ほど前に開館した九州芸文館のアネックス1という教室工房を利用しました。



主催者まちづくりネットワークちくご理事長のあいさつの後、スタッフ紹介をしました。

初めて会う友達・スタッフに、みんな緊張の様子でしたが、レクリエーションを通して、だんだんうちとけていきました。🌸







福岡県赤十字血液センターの方から、献血の大切さ・命のつながりの話、応急措置の仕方を聴きました。♡♡

レク・オリエンテーションで仲良くなった子どもたちは3班に分かれ、家から持ってきたお弁当を食べ、双眼鏡の使い方などを教えてもらって、午後から、筑後広域公園や船小屋・矢部川沿いの堤防などにいる生き物の観察をしました。いろんな虫や鳥や植物を観察し、観察ノートに記録しました。



35℃以上の暑さの中での自然観察だったので、熱中症対策として、冷やした飲み物や塩飴を準備し、神社境内での休憩では、アイスバー「ガリガリ君」を食べました 📍







宿泊場所へ戻る途中、ちょっと遠回りして、椎茸の  
楯木を山積みされている中から、カブト虫やクワガ  
タを探し出すことができました。



今回の宿泊場所は、ちくご暮らし体験施設「筑恋邸」を利用することができました。



「筑恋邸」に戻って、2日間の食事の際に使う箸とし  
て、みんなでのこぎりやサンドペーパーを使って、  
竹を切って削って、マイ箸を作成しました。なかなか  
うまく作れませんがみんなで、一生懸命頑張りました。





初日の夕食は、カレーとサラダを作りました。包丁やピーラーを使って野菜をむいたり、切ったりしながら、みんなで協力してお料理をしました。🎵



夕食前に班ごとに写真を撮りました。



光に集まる虫を観察するために白い布とブラックライト等を使って仕掛けを作りました。どんな虫が集まってくるかな??



カナブン、コガネムシ、ハムシ、カメムシなどを観ることができました。

夜の観察では、セミの羽化をしっかりと観ることができました。







朝6時起床。眠たい目をこすりながら、みんなでラジオ体操。

朝食は、ご飯と味噌汁をみんな美味しく食べました。



矢部川の石に、絵の具を使って世界に1つだけの素敵なアート作品を作りました。





二日目の昼は、そうめん流し、お腹一杯になりました。



公園や川で出会った小さな命について、みんなで話し合って一枚の紙にまとめました。書き出してみると、たくさんの生き物が周りにいることに気づきました。



班別に、生き物を観察した内容を模造紙にまとめて発表しました。







体験学習のまとめとして骨髓提供経験が二度ある長直樹さんのお話しと大石英雄さんのメッセージソングを聴きました。



みんなで美味しくスイカを食べました。



みんなで集合写真…。

みんなで後片付けをしました。

参加したみんなをお見送り…、気をつけて帰ってね。また、参加してね。

(最後に配った写真が入った封筒と子どもキャンパスバッジとお菓子！)

子どもたちが帰って、すぐに、反省会を行って、課題を出し合いました。



【 NPO 法人 まちづくりネットワークちくご 】